



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会  
発行人 会長 巴 昭彦  
事務局 〒780-0850  
高知市丸ノ内1丁目7番45号  
総合あんしんセンター2階  
**TEL 088-872-4585**  
高放技 HP : <http://www.kochi-art.org/top.html>

## 所 感

### 『コロナワクチンについて思うこと』

副会長 中村 伸治

皆さんコロナのワクチンは何回しましたか。私は4回で、今度5回目を受ける予定です。

ワクチン接種でデメリットのニュースが時々流れますが、私はワクチンを受ける意義は高いと思います。特に若い人の大半は軽症で済んでいるとはいえ、38℃を超えるような高熱を出して、咳が長く続いても軽症に分類されず。中には後遺症に悩まされる人もいると聞きます。コロナウィルスを根絶しない限り新たな変異種が現れ、どこかのタイミングで感染してしまうことが考えられます。ワクチンを接種することで、免疫を獲得し感染の確率を減らしたり、感染し発症しても症状の期間が短かったり、重症化を防いだりすることが期待できます。ワクチンを接種することで自分を守るだけではありません。自分の周りにいる家族や友人、同僚を守ることに繋がります。一度感染発症した人は免疫を獲得しているはずですが、時間がたつと免疫力が減衰したり、コロナウィルスが次々と変異をしたりと再度感染してしまう可能性があります。感染後にもワクチンを接種することで、再感染を予防したり、症状を軽くしたり、重症化から守ってくれることが期待されます。最近流行中の BA.5 はこれまで以上に免疫から逃れる能力が高いといわれています。しっかりと必要回数接種して、重い症状から身を守りましょう。

一方、ワクチン接種に伴うのが副反応です。なんともないという人もいますが、接種部分の痛みや腫れ、倦怠感や頭痛、寒気など経験した人もいないでしょうか。私も4回目の時は熱が出て、2日ほど倦怠感が続きました。接種後に少なくとも1~2日は休みが取れるよう準備しておくのが良いと思います。

第8波の波はそこまで来ています。医療従事者である我々は自分だけでなく、患者さんも守らねばなりません。ワクチンの効果を考え、接種を行いましょう。

## 会の動き

### 第4回理事会の開催

令和4年11月6日（日）15：00より、第4回理事会が総合あんしんセンター 3階中会議室にて感染対策の上行われました。会議の議事録は本会ホームページで確認できます。

### 第2回高知MRI技術研究会の開催

第2回高知MRI技術研究会が令和4年11月16日（水）18：00～19：20にZoomを利用したweb形式にて行われた。「頭部救急撮像」テーマに26名の参加があった。夜間救急撮影時の注意点や、各施設の頭部撮影シーケンスの比較等、大規模施設だけでなく、個人病院等に勤務する技師にとっても有益な情報提供であった。

次回以降も高知県下の技師が広く情報共有する場として活動していく予定である。

### 高知Ai技術研究会の開催

高知Ai技術研究会が令和4年11月26日（土）13：00～16：30、西南地域の四万十市民病院にて開催された。診療放射線技師12名、医師（臨床医・法医学）3名、警察3名、県庁1名、計19名の参加があり、県外からはオートプシー・イメージング技術研究会 JSAiT 副会長東北大学大学院准教授 小林智哉さん、JARTAi 分科会委員・JSAiT 事務局長 筑波メディカルセンター病院 田代和也さんにお越しいただいた。

大川理事からは、Ai撮影技術の標準化とAiチェックシートを活用して、診療放射線技師の読影の補助としてAi-STAT画像報告の推進や南海トラフ地震に向けてのDVI（災害犠牲者身元確認作業）にAiを活用していく内容の講演があった。

また、研究発表では、田野病院の山本隆信さんから東部地区のAiの現状・課題についてと溺死などの症例発表があった。幡多けんみん病院の岡林史朗

さんからは Ai 画像の見方や Ai 撮影の発表があった。最後に、大川理事より、くぼかわ病院と梶原病院の症例報告と溺死・焼死体・凍死などの血液就下像についての考察について発表があった。

本会では医師をはじめ多数の意見や質問があり、当初の時間をオーバーして、熱い議論が繰り返された。

今後も高知 Ai 技術研究会を定期的開催していく予定で、Ai 撮影技術統一と Ai チェックの活用による読影向上のため、多くの技師会員のみなさまにご参加戴きたい。

## 高知 Ai 技術研究会プログラム

### 1. 講演

座長 中村副会長

「Ai 撮影標準化・Ai チェックシート活用と  
大規模災害時 DVI（災害犠牲者身元確認作業）Ai 活用について」

日本オートプシーイメージング技術研究会 DVIAi 活用班 班長

JARTAi 分科会委員大川剛史

### 2. 症例発表

「幡多けんみん病院症例、Ai の所見の見方」

岡林 史朗（幡多けんみん病院）

### 3. 研究班発表- 2

・[東部地域の Ai の現状と課題、直近の症例を数件]

山本 隆信（田野病院）

### 4. 症例検討会

・「くぼかわ病院・梶原病院・大正診療所の症例」

・「溺死・焼死体・凍死などの血液就下像についての考察」

大川剛史（四万十町国保大正診療所）

**お知らせ****高知県診療放射線技師学会大会演題募集について**

令和4年度高知県診療放射線技師学会大会が下記日程で予定されており、演題募集中です。日頃の研究成果の発表をよろしくお願ひします。

**令和4年度高知県診療放射線技師学会大会の演題要綱**

日時 令和5年2月5日(日)

会場 高知医療センター 2階 くろしおホール

内容 ①一般演題

②その他

**演題〆切 2022年12月5日**

発表形式 PowerPoint(ノートパソコンまたはUSB、CD に演題を保存し当日お持ちください)

発表時間 10分以内(発表 7分、質疑応答 3分)

申込方法 演題内容を次ページの空欄に記載し、下記のメールまで、お申し込みください。

申込み先 mail: [tomozen-akihiryu@power.odn.ne.jp](mailto:tomozen-akihiryu@power.odn.ne.jp)

※感染状況により、開催・会場等が変更される場合があります。

備考 各地区活動部長 は、1地区1演題以上となるように(学術担当)活動部員を通じて演題の提出依頼をお願いします。高知県学術奨励賞の授与もありますので、奮って、演題発表をお願いします。

メールで下記の内容を送信ください。

**令和4年度高知県診療放射線技師学会大会 演題登録**

演題名 ( \_\_\_\_\_ )

施設名 ( \_\_\_\_\_ )

発表者名 (共同研究者名) 発表者を先頭に記載

\_\_\_\_\_ . ( \_\_\_\_\_ )

発表者メールアドレス (座長からの質問等に使用します。携帯不可)

\_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_ .

発表内容 (目的・方法・結果・考察を座長が見て分かる程度に簡略化)

## 告示研修の開催(令和4年度3回目)

本年度、高知県での最後の告示研修が下記の日時・会場にて行われます。申し込みについては業務拡大の研修を受けた方から優先的に申し込めるようになっており、日本診療放射線技師会のホームページから受付中です。

### 開催日時

2023年1月22日(日) 8時～17時

申込受付期間 2022年11月24日～2023年1月8日

会場：高知医療センター

がんサポートセンター 4階研修室・研修室1, 2, 3

### 申込方法

- 1) JART 情報システム(日本診療放射線技師会ホームページ)にログイン
- 2) 生涯教育・イベント参加のお申し込み クリック
- 3) イベント検索にて当該研修の検索  
イベント名「告示研修」都道府県「高知県」選択入力
- 4) 対象研修をクリック、次に進み手続きする

### 総務報告(令和4年10月31日現在)

1. 高知県の会員数	<u>213</u> 名
2. 令和4年度会費納入者	<u>185</u> 名
賛助会員	<u>7</u> 社
3. 令和3年度会費納入者	<u>7</u> 名
4. 令和4年度新入会員数	<u>15</u> 名
(今月の新入会)	<u>1</u> 名
5. 令和4年度再入会員数	<u>0</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 令和4年度退会者数	<u>5</u> 名
(今月の退会者)	<u>1</u> 名
7. 令和4年度転出者数	<u>2</u> 名
8. 令和3年度転入者数	<u>2</u> 名
(今月の転入会者)	<u>0</u> 名

☆「技師会だより」を郵送受取りされている方で、メール配信への変更にご協力頂ける方は、事務局までご連絡下さい。